

# 鹿児島港本港区エリアまちづくりについて (第7回総合体育館基本構想検討委員会資料)

令和4年1月11日

土木部 港湾空港課 本港区まちづくり推進室

# グランドデザインの策定経緯，概要について

## 1 策定経緯

- 「鹿児島港本港区エリアまちづくり検討事業」の予算化（H29年度新規）
- 本港区エリアの現状分析，活用方策の検討及びケーススタディを行い，「平成29年度調査報告」として公表（H30.2）

※ 民間提案・対話(サウンディング調査)の実施結果（抜粋）＜応募団体：計18団体＞

導入機能	提案団体数	主な活用方策の提案
物販機能	10団体	複合商業施設，小規模な店舗群
飲食機能	11団体	海辺の立地を活かしたカフェやレストラン等
娯楽機能	7団体	エンターテインメント施設や地域性を活かしたテーマパーク
宿泊機能	6団体	高級ホテル
観光機能	6団体	観光案内施設
インバウンド対応機能	3団体	クルーズ船受入対応（CIQターミナル）
交流機能	9団体	コンベンション施設，スポーツ施設，イベントスペース
健康増進機能	5団体	地域性を活かした温浴施設
その他機能	9団体	駐車場や交通結節点の整備

- 有識者や経済界等で構成する，本港区エリアまちづくり検討委員会の開催（H30.5～11（計4回））
- 本港区エリアまちづくりに関する民間提案の公募（H30.5～8）
- 本港区エリアまちづくり検討委員会報告（H30.11）
- グランドデザイン(案)に係るパブリック・コメントの実施（H30.12～H31.1）
- グランドデザインの策定，公表（H31.2）

## 2 概要

本港区エリアについては，民間活力の導入を基本に，開発のコンセプトを次のとおりとしている。

### 【開発のコンセプト】

鹿児島港本港区エリアについて，

- ①かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点
- ②かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間
- ③景観資源（錦江湾や桜島，歴史的建造物）を活かした魅力ある空間を要素として，年間365日，国内外の幅広い観光客や県民で賑わい，国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」の形成を図る。

【開発のコンセプトの要素及び導入機能】 ※導入機能：主なもの(○)，望ましいもの(☆)

### 【要素1】かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点

本港区エリアは離島航路等が就航する鹿児島県の海の玄関口であり，また，賑わいのある鹿児島中央駅地区から天文館地区の延長線上に位置する立地であることから，こうした地理的優位性を活かして，広大な県土に広がる自然豊かな島々をはじめ，県内各地域におけるかごしまの魅力を発信する交流拠点を目指します。

- 物販，飲食，観光，宿泊，交通拠点(路面電車など)，交流(イベント)など
- ☆離島をはじめとする県内各地域の魅力を発信する観光機能
- ☆クルーズ船寄港時の歓迎セレモニーや特産品販売等に対応できるスペース

### 【要素2】かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間

本港区エリアは広大であり，開発のポテンシャルが高いことから，物販や飲食機能を中心とした複合的な施設にとどまらず，エンターテインメント性を高めるための娯楽施設や，滞在性を高めるための宿泊施設などの導入により，かごしまの魅力を五感で体感・堪能し感動できる空間を目指します。

- 物販，飲食，観光，娯楽，宿泊，交流(イベント,コンベンション),健康増進など
- ☆かごしまの食を堪能できる飲食機能

### 【要素3】景観資源（錦江湾や桜島，歴史的建造物）を活かした魅力ある空間

本港区エリアは錦江湾の広大な静穏海域や雄大な桜島などの美しい自然景観を望むとともに，歴史的建造物である鹿児島旧港施設等を有することから，これらの魅力を最大限に活かした魅力的な空間を目指します。

- 緑地，物販・飲食(小規模)など

# グランドデザインの実現に向けた取組の経緯について

**グランドデザインの実現に向けて、民間活力を活かした宿泊機能や、飲食機能などを備えた集客施設等を整備しようと事業者公募に係る公募要項(案)を作成・公表していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済情勢の深刻化などから、公募の開始を延期**

- 公募要項(案)の公表(R2.2)
- 事業者公募の開始を「当面2ヶ月」延期(R2.3)  
【延期理由】新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済情勢の深刻化等
- 事業者公募の開始を「当分の間」延期(R2.5～)  
【延期理由】新型コロナウイルス感染症の影響により、民間事業者の公募に向けた提案内容の検討に支障が生じていること



(マニフェスト(R2.7)を踏まえて)  
新型コロナウイルスの影響が続く中で、グランドデザインを踏まえ、本港区エリアにおいて地域が賑わう拠点を形成するためには、**民間活力を活かした施設整備だけでなく、公共関与による交流機能の整備も視野に入れて、改めて検討**

- 「コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査」の開始(R3.6～)



スポーツ利用に加え、コンサート・イベント、コンベンション、展示会などに利用できる多目的な交流機能を有する総合体育館を本港区エリアに整備すべきとの検討委員会の方向性については、公共関与による交流機能の整備検討という考え方にも合致している。

## 参考

### (1) 公募要項(案)の概要

公募対象	ドルフィンポート跡地及びウォーターフロントパーク
公募方法	公募型プロポーザル方式
必須とする施設	①ホテル ②集客施設 ③適正な規模の駐車場

### (2) マニフェスト(アジア中核都市の実現)

ドルフィンポート跡地を活用し、天文館エリアや鹿児島中央駅エリアとの回遊性を確保しつつ、鹿児島市と連携して、国際会議などを開催できるコンベンション機能や展示機能を整備することを検討します。

### (3) コンベンション・展示機能を備える施設に係る整備可能性調査

調査内容	①県内外の「コンベンション・展示機能を備える施設」の調査 ②コンベンション、展示会等の市場動向 ③本県に必要なコンベンション・展示機能を備える施設整備の条件整理 ④ドルフィンポート跡地等における施設整備の条件整理等
履行期間	令和3年6月22日～令和4年3月31日

## 新たな総合体育館

### 「新総合体育館需要予測調査」の結果

- 施設の利用割合は、メインアリーナで  
スポーツ利用が概ね76%～87%、多目的利用が概ね13%～24%
- 施設の利用者数は、概ね28万人～41万人(メインアリーナ:概ね20～33万人)

### 新たな総合体育館の施設機能

スポーツ振興の拠点機能

多目的利用による交流拠点機能

### 第6回総合体育館基本構想検討委員会(R3.11)

整備候補地をドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして整備することが望ましい。

# 今後のランドデザインの実現に向けた取組について

## ランドデザイン（再掲）

### 【開発のコンセプト】

本港区エリアについては、民間活力の導入を基本に、開発のコンセプトを次のとおりとしている。

鹿児島港本港区エリアについて、

①かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点

②かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間

③景観資源（錦江湾や桜島，歴史的建造物）を活かした魅力ある空間

を要素として、年間365日、国内外の幅広い観光客や県民で賑わい、国際的な観光都市にふさわしい「来て見て感動する観光拠点」の形成を図る。

### 【開発のコンセプトの要素及び導入機能】 ※導入機能：主なもの(○)，望ましいもの(☆)

#### 【要素1】かごしまの多彩な魅力を発信する人・モノ・情報の交流拠点

- 物販，飲食，観光，宿泊，交通拠点(路面電車など)，交流(イベント)など
- ☆離島をはじめとする県内各地域の魅力を発信する観光機能
- ☆クルーズ船寄港時の歓迎セレモニーや特産品販売等に対応できるスペース

#### 【要素2】かごしまの魅力を体感できるエンターテインメント空間

- 物販，飲食，観光，娯楽，宿泊，交流(イベント，コンベンション)，健康増進など
- ☆かごしまの食を堪能できる飲食機能

#### 【要素3】景観資源（錦江湾や桜島，歴史的建造物）を活かした魅力ある空間

- 緑地，物販・飲食(小規模)など

## 実現に向けた取組

まずは、同エリア内に、スポーツ利用に加え、コンサート・イベント、コンベンション、展示会などに利用できる多目的な交流機能を有する施設（総合体育館）を整備

コロナ収束後の社会情勢の変化や多目的な交流施設（総合体育館）の活用状況等を注視しつつ、事業者公募で検討していた宿泊機能や集客機能はもとより、鹿児島市が検討しているまちづくりの方向性なども念頭に置いて、ランドデザインの開発コンセプトに基づき検討